



豊かで 住みよい 町づくり

議会だより

VoL.

35

9月定例会

2009. 11. 1 発行

上 勝

主な内容

- 臨 時 会 ————— 2
- 9 月 定 例 会 ————— 2 ▶ 3
- 一 般 質 問 ————— 4 ▶ 8
- 委 員 会 報 告 ————— 9 ▶ 11
- 写真で紹介
- まちのようす・編集後記 — 12



平成21年度 一般会計補正予算 (補正第3号)

補正額 5億 540万1千円を追加し
総額 34億3,536万円とした

補正の主なもの

- 携帯電話等エリア整備事業費(杉地地区) 1億4,017万円
- 小・中学校太陽光発電設置工事費 6,165万円
- 育成林整備事業費 4,000万円
- 道路新設改良費(剣山線他4路線) 2,040万円
- 森林整備加速化・林業飛躍事業費 1,913万円8千円
〔木質燃料選別機購入 1,000万円
月ヶ谷温泉整備 630万円 他〕

平成21年度 特別会計補正予算

補正額 1億 1,394万6千円を追加し
(国民健康保険事業勘定・東地区簡易水道・西地区簡易水道)
特別会計総額 10億8,315万6千円とした

● 条例改正

上勝町個人情報保護条例の一部を改正する条例他4件を原案どおり可決した。

第5回
臨時会

会期 1日
平成21年7月23日

一般会計
補正予算

補正額 2億 75万3千円を追加し
総額 29億2,995万9千円とした

補正の主なもの

- 総合行政システム更新 6,993万円
- 戸籍システム更新 1,092万円
- 戸籍システム機購入 450万5千円
- 有害鳥獣防護柵設置事業補助金 1,026万円

特別会計
補正予算

補正額 766万9千円を追加し
(診療施設勘定・福原診療施設勘定)
特別会計総額 9億6,921万円とした

原案どおり可決した。

第6回
定例会

会期 18日
開会 平成21年9月11日
閉会 平成21年9月28日

平成20年度 決算認定

- 一般・特別会計 歳入総額 35億8,452万8千円
- 一般・特別会計 歳出総額 33億1,365万2千円



鹿島國男 議員

答 町長 現在検討中である。

問 簡易水道府殿、中瀬津地区の水源地は。

答 建設課長 平成22年度末の完成予定。

問 正木のバイパス工事は。

問 新型インフルエンザ予防接種の優先順位は。

答 住民課長

医療従事者、救急隊員、妊婦、基礎疾患がある者、1歳から就学前の小児、1歳未満の小児の両親、小中高生、高齢者の順に接種する。

政権交代後の 正木バイパスは

子育て支援策について問う



答 住民課長 国、県、町の事業を紹介。

『一般健康診査の実施』
妊婦14回分、乳児2回。
『健康診査の実施』
乳児年4回、1歳6ヶ月児、2歳6ヶ月児、3歳6ヶ月児、4歳児・5歳児健診。

『子育て支援の相談』
言語聴覚士や臨床心理

問 子育て支援は。

士による育児相談や発達相談、年2〜4回。
『家庭訪問の実施』
妊婦、新生児、乳幼児、幼児訪問、必要に応じて実施、いずれも無料。
『予防接種の実施』
定期予防接種、本人負担なし。
『乳幼児等医療』
0歳児から12歳児の誕生日以降最初の3月31日までの間、医療費の個人負担無料。（所得制限あり）
『上勝町出生時祝い金及びお誕生証書贈呈』
出生児1名につき祝福記念品5,000円相当と祝い金を支給、第1子2万円、第2子3万円、第3子以降10万円。
『児童手当』
3歳児未満の児童一律1万円、3歳児以上の児童、第1子5,000円、第2子5,000円、第3子以降1万円。

答 教育長

教科書無償給付、修学旅行や学校行事への助成、給食費ガス代半額町費負担等、他市町村より充実している。
他に町営住宅について質問しました。

一般質問

町政を問う

9月定例会の一般質問には5人が質問しました。



明本恵一 議員

公正で安心な町政へ

後期高齢者医療制度は早く廃止を

問 廃止法案は国会で可決の見通しだ。高齢者を「うば捨て山」から早く戻してもらいたい。町長の考えと決意とは。

答 町長 結論から言えば、国の負担がどうなるかが明確にならない限り賛成できない。

CATV問題、福祉面で解決は図れるか

問 80歳以上のテレビだけ世帯は、三好市のように福祉面で1,000円程度にしているかどうか。

答 町長 県内状況を調査し、周辺の首長の考えも聞き検討する。

問 福祉面で解決すると解してよろしいか。

答 町長 現段階では難しいが県内調査を命じた。

問 加入金18万円は法外な金額だ。誰が暴利をとっているのか調査し解決せよ。

答 町長 運開後の加入者は13万6,500円と説明した。その後、機器が3万6,540円、工費が5万2,500円値上がりし、計17万8,290円となった。高い加入金で14名が加入した。加入促進の立場から、前向きに検討し、年度内に結論を出したい。

町内の失業問題と雇用

問 若者住宅をつぎつぎと建て続けているが「仕事なくして定住なし」だ。町長はどのような考えか。

答 町長 国の事業急雇用創出事業で10事業（2,800万円）で21人を雇用した。また、ふるさと再生雇用事業で12事業（6,023万円）で24人

計30人を雇用した。あと、15人雇用する。

問 短期雇用でなく継続的な雇用が持続可能な社会にとって必要ではないか。

答 町長 有機農業があるが安定的な雇用になるかどうかが課題である。

有機農業推進について

問 交付金400万円、3年間継続と説明があったが、1年限りで尻切れトンボだ。継続性、発展性がない。経過と今後について説明せよ。

答 産業課長

20年度は、モデル事業（有機農業研究会を組織した、10回の講演会、2回の視察、試食会など）をした。約50軒が加入した。アンテナショップも出来22軒が登録、野菜を生産出荷している。

第3セクターよりの財産収入

問 公有財産の使用料・貸付料を明確にし

収納率を高めるべきだ。減免により町有財産を食いつぶしている。いくら減免したか。

答 産業課長

きびしく徴収すると、3セク経営が悪化し、従業員の生活を切り捨てることになる。3セク各社の5年間の免除額は次のとおり。
◇株上勝バイオ 500万円
◇株上勝いつきゅう（月ヶ谷温泉） 4720万円
◇株もくさん 1413万円
合計6,633万円を減免した。

新型インフルエンザ対策

問 流行が広がり社会不安となっている。県内、町内の状況は、確定診断は何処ですか。

答 住民課長

上勝町ではA型が1名発生したが、新型ではなく完治している。県では、集団発生が2件報告されている。新型かどうかは国立感染症の専門機関がする。

委員会報告

総務常任委員会

学校訪問

平成21年7月8日

給食センター

新田栄養教諭から衛生面給食献立等説明があった。

幼稚園・小学校

各学年の授業参観の後、校長先生、他の先生方と意見交換の場を持った。

中学校

校長先生と給食の後、各学年の授業参観、学校施設等を見学し先生方から要望等意見交換をした。

彩保育園

高橋園長から現状等説明があり、園内施設見学。

学童保育あすなろ

放課後の子供達の元気な声が聞こえ、学校とはちがう雰囲気だった。

(阪松)



小学校



給食センター



中学校



彩保育園

政権交代での地方行政



藤田 欣宏 議員

問 9月16日に鳩山政権が誕生し、八ッ場ダム・川辺川ダムの中止とか、陳情を受け付けない、費用対効果で要らないものは作らない等々報じられているが、地方行政としての考えは。

答 町長 自民党でもないのであくまで住民のため中立的で努力したい。陳情ではなく政策提言をしていく。例えば森林環境税・資源回収法・新過疎法等で農山村が良くなるように提言していく。

問 東部広域農道・県道16号線の改修工事等に影響が考えられるが。

答 町長 影響は出る。トンネルは県が債務負担でやるので予定どおり進むが、東部広域農道はたださえ遅れている。が、1車線とてにかくつなぎ、農道として効果が出るようお願いする。田野々・八重地間も予算確保に努める。町道は交付金事業で今はあるが、来年度はなくなるのではと危惧している。このことも含め激変すると。国の財政状況からすると相当な覚悟がいると思う。そのうえで新たな政策提言を知事・県選出の国会議員にしていく。



ビエンナーレは2年に1回・トリエンナーレは3年に1回開催

トリエンナーレの開催

問 国民文化祭から2年たち来年度はトリエンナーレ開催を公約としていたが、今年度の動きは。

答 町長 昨年8月一ト研究会を発足し、3年に1回実施することを取り組んでいるが、22年度の開催は難しい。断念せざるを得ない状況だ。

インフルエンザ対策

問 厚生労働省では5人に1人の割合で感染すると予測している。このまま上勝町に当てはめると400人が感染することになる。役場の職員も感染しない保証はない。行政がストップすることはないのか。

答 町長 役場の業務は止められないので残った職員

で対処する。来客者にもマスクの着用や手洗いをお願いする。

答 教育長

県教委の指導で10%から30%の児童が新型インフルエンザに感染すれば7日間程度の休業を、小学校では3学級、中学校では2学級が学級閉鎖すれば学校閉鎖になる。

問 3秒で測定できる非接触型体温計を導入しては。

答 教育長

本町も早急に検討し導入することにした。幼稚園、小学校、中学校に一つずつ配置する。

他に防災訓練についても質問しました。



ハーブガーデンとクラフト館

園芸福祉コース、農業コースとあって、若者に1年間働いてもらう、以前には短期コースもあった。平成5年に始まり、今までに171人が参加

町外から来たスタッフはここで町の人と交流、定住につながってゆく。

定住した女性と話したが、人の優しさ、野菜のおいしさ、空気の良さが決め手となったと言った。役場の対応も良かった、親も行政がやっているのだから安心ということだ。結婚適齢期のこの女性、はきはきしてかわいらしく、上勝へ連れて帰りたいかった。きっとこの町で素敵な人を見つけ、本当の定住をするだろう。

(渡部)

邑南町は2つの町と村が1つ、平成16年の合併で出来た町だ。面積は420km²、人口1万3,000人、歴史を1万年以上遡ることができる。

この町には香木の森という美しいハーブガーデンがあり、歩ける距離に温泉、宿泊施設、カフェ、クラフト館などが建っている。そしてこの香木の森が若人定住の源なのだ。

島根県邑南町

おのなんちよう

平成21年7月16日

ハーブガーデンと若者定住の町

産業建設常任委員会



香木の森公園 温室

25人が定住した。園芸福祉コースは女性だけを対象にしており、スタッフとして、ハーブや花の育成、公園管理、クラフト加工、販売などが仕事となる。西コース共に月13万円が町より支給される。公園管理には多くのボランティアを募集、年に200名ぐらいが月1日、スタッフと共に作業をする。大変好評で、ボランティアは、余った苗や剪定した花をもらって満足して帰るそうだ。町外から来たスタッフはここで町の人と交流、定住につながってゆく。

カンナ屑を使ったペレットを製造する銘建工業の木質ペレットは、化石燃料の代替燃料としてCO₂削減燃料として注目され、真庭市の公共施設や学校の暖房、農業用ボイラー、家庭用のストーブにも使われている。

木材の利用を最大限に引き出す技術を研究開発し、CO₂の削減に全力で取り組んでいた。

(鹿島)



木質ペレット製造器

0年12万トン、2050年18万トンと決めている。

真庭市はCO₂削減目標を2030

7月15日に上勝と同じように山林が町の8割をしめる岡山県の真庭市へ行って来た。

ランデス株式会社が製造しているヒノキチップを使った木質コンクリートは、軽くて運搬が楽で、これを使ったブロックは水持ちがよく、それでいて結構長持ちするので、花壇や遊歩道に適している。



ヒノキチップを使ったブロック

産業建設常任委員会

バイオマスタウンを訪ねて

岡山県真庭市

まにわし

平成21年7月15日



バイオ燃料プラントの説明

写真で紹介 まちのようす



上勝材を使ったモニュメント（神戸ビエンナーレ東彩門）



地域の安全を守る会 草刈り奉仕



コスモスの種まき（傍示OB会）



交通安全の会 秋のキャンペーン（福川）



いっきゅう茶屋前 壁画修復



石井フーズの鶏糞堆肥作り（有機農業研究会）



（鹿島）

昼間の太陽の光は肌に
痛い、朝晩はめっきり
寒くなりました。今年は
新型インフルエンザが心
配ですが手洗い・うがい
をして予防に努めたいと
思います。

編集後記